

政策 1

ともに紡ぐ協働のまちづくり



1 - 1

地域の個性を活かしたまちづくりの推進

1 - 2

生活安全体制の強化

1 - 3

持続可能な行政経営の推進



1-1 地域の個性を活かしたまちづくりの推進

重点 伊達の生涯活躍のまち加速化事業

新たなまちづくりに挑戦します

担当課 総合政策課

2,084 万円

【目的】

生涯活躍のまち（伊達市版CCRC^{*}）基本構想をもとに、伊達市の地域特色をし誰もが元気で活躍できるまちづくりを推進し、都市圏からの人の流れを生み新たな雇用が創出できるプログラムの具体化を図ります。

【実施内容】

- 生涯活躍のまち運営推進体制の構築
- 関係機関（産官学金労言士）との連携
- 事業の具体化のための整備・運営、計画
- 施設運営事業者の選定
- 生涯活躍プログラムの構築

【前年実績】

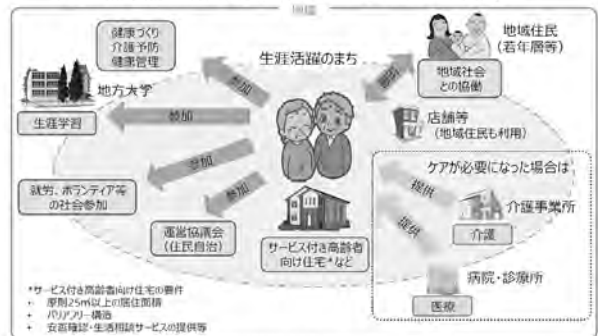
- 生涯活躍のまち（伊達市版CCRC）基本構想策定
- 生涯活躍のまち推進協議会 4回開催

財源（万円）	市の負担	
		1,044

「生涯活躍のまち」における中高年齢者の生活（イメージ）

※（出典元：「生涯活躍のまち」構想に関する事例集（第3版）

①健康でアクティブな生活の実現と継続的ケアの提供、②自立した生活ができる居住環境の提供、③入居者の参画の下、透明性が高く安定した事業運営によるコミュニティの形成を一体的に実現。



※事業の透明性・安定性の確保の方策：入居者の参画、情報公開、事業の継続性確保

イメージ

※ CCRC とは、「Continuing Care Retirement Community」の略称。高齢者が、健康なときから介護が必要になる時まで、一貫して継続的なケアが受けられることが保証されているコミュニティのこと。

重点 拡充 健幸都市推進事業

次の10年に向け、健幸なまちづくりを推進します。

担当課 健幸都市づくり課

3,161 万円

【目的】

少子高齢化、人口減少が急速に進む中、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせ、市民誰もが健康で幸せに暮らすために、健康を基軸としたまちづくり「健幸都市（スマートウェルネスシティ）の実現を目指します。

【実施内容】

- 健幸都市の全市展開に向けた取り組み
歩きたくなるまちづくりを目指し、健幸都市モデル地区での取り組み成果や各地域の資源、地域特色を活かした健幸都市の全市展開を推進します。
- 健幸ポイント事業の取り組み
スマートウェルネスシティ総合特区での実証を活かした新たな健幸ポイント事業をリスタートし、健康づくりへの契機を推進します。
- 健幸都市モデル地区での取り組み
モデル地区（掛田地区・白根地区）における主体的な活動への支援を行います。

【前年実績】

- 健幸都市の実現に向け、モデル地区での成果を活かし、伊達地域、月舘地域でマルシェ事業を実施し、地域の皆さん、関係団体などとの協働による地域主体の地域活動が行われました。

財源（万円）	市の負担	
		3,161

- スマートウェルネスシティ総合特区での実証として、健幸ポイント事業を3年間実施し、1,500人の市民の方々が参加し、健康づくりへの取り組みのきっかけとなりました。



伊達地域や月舘地域でのマルシェ事業。健康と賑わいのコラボレーション。

重点

地域自治組織推進事業

暮らしを支える地域づくり。地域づくりは“人づくり”

担当課 市民協働課

7,053万円

【目的】

地域コミュニティを構成する多様な主体が、責任と役割を認識し、自助・共助を適切に組み合わせ相互の連携と協力による協働のまちづくりを推進します。

【実施内容】

- 地域自治組織の課題解決に向けた事業に対する支援。
- 地域自治についての意見交換や組織形成の学習会など、地域自治組織設立までの支援。

【前年実績】

- 地域自治組織活動支援交付金
- 27団体組織設立（平成29年3月末予定）
- 代表者会議（4回開催）

財源（万円）	市の負担
	7,053



地域自治組織代表者会議

重点

都市間交流事業

伊達市らしさの再発見。出かけよう、交流都市へ！

担当課 市民協働課

574万円

【目的】

姉妹・友好交流都市などと観光、産業、教育など幅広い分野における交流を行い、行政および市民間相互の友好関係を構築します。

国際化社会に対応できる人材を育成するため、伊達市国際交流協会が主催する事業に補助金を交付します。

【実施内容】

- 姉妹都市、友好交流都市などとの市民活動団体同士の交流事業について支援を行います。
- 大規模災害時相互応援協定を結んでいる都市と友好交流都市協定を締結していきます。
- 海外派遣相互交流事業（伊達市内とアメリカ・リヴィア市内の中・高校生が1年ごとに交互にホームステイを通して交流を深めます。）

【前年実績】

- 伊達市合併10周年を記念し、姉妹・友好交流都市などとの交流会を実施。

- 友好交流都市である草津市とクリスマスブーツギャラリーを開催。
- リヴィア市へ12名の派遣団を派遣
- リヴィア市と国際姉妹都市締結

財源（万円）	市の負担
	574



国際姉妹都市締結式

重点 空き家対策事業

空き家は地域資源、空き家バンクで有効活用してみませんか？

担当課 市民協働課

296万円

【目的】

少子高齢化や社会経済情勢などの変化により、空き家などが増加傾向にあります。利活用可能な空き家を有効活用するための仕組みを推進し、移住定住を促進します。

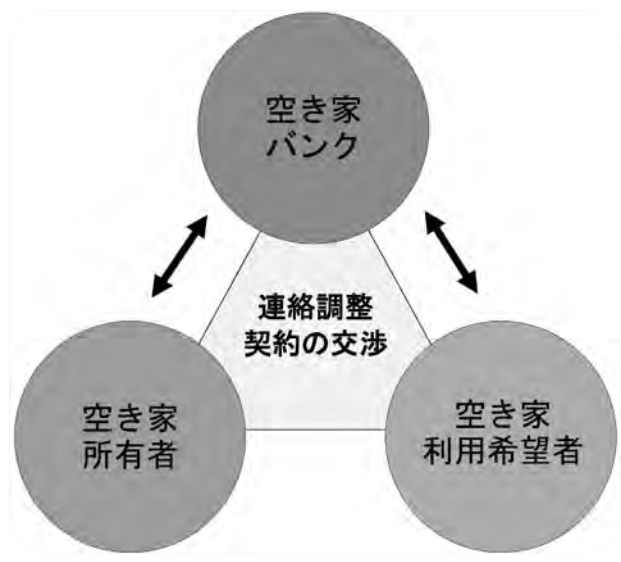
【実施内容】

- 伊達市空家等対策計画策定
- 伊達市空き家バンクを活用し、利活用可能な空き家情報を全国へ発信
- 空き家バンク制度を利用して、空き家を購入または賃貸借した際に、改修費の一部を補助します

【前年実績】

- 空き家バンク運用開始に向けた取組
- 空き家実態調査結果を基に、伊達市の状況を検証
- 空家等対策計画の素案作り

財源(万円)	市の負担
	296



重点 ふるさとティーチャリングプロジェクト事業

(大学生+市内のこども達) × 交流 = ふるさとの価値

担当課 総合政策課

718万円

【目的】

首都圏在住の学生などに伊達市の魅力やふるさとの価値を感じてもらい、大都市からの若者の移住定住を促すため、大学生を伊達市に呼び込み、こども達に勉強のアドバイスをしたり、スポーツやイベントなどを体験してもらい、人々との交流や絆づくりを進めます。

【実施内容】

- ① 寺子屋教室の開催
月に1回ずつ。1回あたり1泊2日で実施。
(夏休み、冬休みは実施期間を伸ばして開催予定。)
- ② 取組についての活動報告会を開催
- ③ フェイスブックなどで学生などによる情報発信

【前年実績】

- 参加人数：(大学生)のべ98名(こども)のべ338名
- 実施回数：11回

財源(万円)	市の負担
	718



寺子屋教室の様子

重点 拡充 英語が溶け込むまちづくり事業

英語を通じて世界に目を向けよう！

担当課 総合政策課

1,114万円

【目的】

伊達市の観光や文化などを外国人の視点で広く世界に情報発信するため、国際交流員を採用し、外国人と伊達市民が互いの文化を共有しながら、身近に英語に触れ、交流が促進される環境づくりを進めます。

【実施内容】

- ①子どもが集まる施設での英語体験事業の企画、立案、実施
- ②市が作成した冊子の英語版など国際交流事業の企画、立案、実施

【前年実績】

平成28年度分

- 国際交流員 1名採用（アメリカ合衆国出身）
- 子どもが集まる施設での英語体験 11回実施

財源（万円）	市の負担	その他（諸収入）
	1,056	58



英語体験・あそびの様子

重点 伊達地域まちづくり活性化事業

活力と賑わいのあるまちづくり

担当課 伊達総合支所

2,400万円

【目的】

中央商店街を含む市街地の振興を図るための「伊達地域まちづくり活性化実施計画」を策定すると共に、「一般社団法人まちづくり伊達」への業務委託と併せ、法人の主体的な取り組みを支援しながら、官民連携による新たなまちづくりに向けた施策を展開することとします。

【実施内容】

- 伊達地域まちづくり活性化実施計画作成業務委託料 400万円
前年策定した「伊達地域まちづくり活性化基本計画」を基に、地域の活性化ならびに商店街を含む市街地などの整備のための具体的な計画策定を行います。
- 「一般社団法人まちづくり伊達」運営業務委託料 2,000万円
法人の運営と中央商店街の賑わい創出および活性化のための主体的な取り組みなどを行います。

財源（万円）	市の負担
	2,400



重点 **新規**

保原まちなか回帰事業

健康で楽しく暮らす街づくり

担当課 保原総合支所

350万円

【目的】

市民の交流促進、少子高齢化社会に対応したまちづくりなど、市民がまちなかで集えるような施策を検討します。

【実施内容】

事業計画（構想）の策定

【前年実績】

平成29年度からの新規事業のため、前年度実績なし。

財源（万円）	市の負担
	350



重点

月舘地域交流推進事業

花工房とスポーツを活かした都市と農村の交流を目指します

担当課 月舘総合支所

1,378万円

【目的】

月舘地域の地域振興を図るため、小手小学校の校舎・敷地利用に係る基本計画の策定や、つきだて花工房周辺整備用地の測量、月舘まちづくり環境整備工事実施設計を行います。

【実施内容】

- ①小中一貫に伴う小手小学校校舎・敷地および周辺施設利用の基本計画策定
- ②つきだて花工房周辺の用地測量
- ③月舘まちづくり環境整備工事実施設計

【前年実績】

- 月舘運動場管理棟および夜間照明設備の改修を行った。
- クラインガルテン基本計画を策定した。
- 街中立ち寄り所の改修を行った。

財源（万円）	市の負担
	1,378



つきだて花工房と月舘運動場

生き生き集落づくり事業

担当課 総合政策課

6,395万円

【目的】

少子高齢化や人口減少が進む中山間地域の地域活性化を目指すため、首都圏などの大都市圏に住む若者などを「地域おこし支援員」として配置し、よそ者・若者などの視点で地域課題の解決や地域資源の発掘などに取り組みます。

【実施内容】

- ①地域おこし支援員の募集および東京都内で募集相談会参加（3回）
- ②地域おこし支援員受入準備および知識習得のための研修会参加
- ③受け入れ地域と地域おこし支援員と3者による意見交換
- ④地域おこし支援員が活動を発表する活動報告会の実施

【前年実績】

- 地域おこし支援員数 8名
- ※うち28年度新規地域おこし支援員数 2名

財源（万円）	市の負担
	6,395

- 地域おこし支援員配置地区 8地区
- ※富成、富野、白根、五十沢、泉原、中川、小国、石田
- （平成29年2月1日現在）



H29.2.1 現在活動中の地域おこし支援員

伊達地域づくり支援事業

担当課 伊達総合支所

1,489万円

【目的】

市民が主体的に取り組む地域づくり事業などのうち、公益性があると認められるものに対し事業に必要な額の助成を行います。また、町内会単位での自治活動などに対し、事業費の8割程度を限度に交付金として助成します。

【実施内容】

- 行政区運営事業（36行政区） 451万円
行政推進員の報酬です。
- 行政区活動交付金 680万円
町内会活動を育成する交付金です。
- 地域づくり支援事業交付金 358万円
平成29年度の申請により交付先・事業を決定します。

【前年実績】

- ふるさとまつり・イベントなど
- 各町内会および町内会連合会事業
- ウォーキング大会
- だてふるさと産業祭ほか

財源（万円）	市の負担
	1,489



長岡天王祭



だてふるさと産業祭



ウォーキング大会

梁川地域づくり支援事業

担当課 梁川総合支所

2,787万円

【目的】

市民が主体的に取り組む地域づくり事業などに必要な助成を行います。また、身近な町内会の事業活動に交付金の助成を行います。

財源 (万円)

市の負担
2,787

【実施内容】

- 行政区運営事業 (126行政区) 1,035万円
行政推進員の報酬です。
- 行政区活動交付金 (126行政区) 1,241万円
町内会活動を育成する交付金です。
- 地域づくり支援事業交付金 511万円
平成29年度の申請により交付先・事業を決定します。

【前年実績】

- やながわふるさとまつり事業
- 自治組織などの地域づくり事業
- 高齢者介護ボランティア活動事業
- 婦人会活動事業
- むらづくり活性化推進事業 など



伊達のふる里夏まつり「花火大会」



伊達のふる里夏まつり「やながわ踊り流し」



やながわふる里の秋まつり「白根万歳」

保原地域づくり支援事業

担当課 保原総合支所

3,043万円

【目的】

市民が主体的に取り組む地域づくり事業などに必要な助成を行います。また、身近な町内会の事業活動に交付金の助成を行います。

財源 (万円)

市の負担
3,043

【実施内容】

- 行政区運営事業 (120行政区) 1,149万円
行政推進員の報酬です。
- 行政区活動交付金 (120行政区) 1,536万円
町内会活動を育成する交付金です。
- 地域づくり支援事業交付金 358万円
平成29年度の申請により交付先・事業を決定します。

- 流町地域づくり事業
- 太鼓競演
- 育成事業など

【前年実績】

- ほばらサマーフェスティバル
- 陣屋通りイルミネーション事業
- 紅屋峠千本桜整備事業
- ほばら産業まつり
- 婦人会活動事業
- 高子沼環境美化事業



イルミネーション



サマーフェスティバル

霊山地域づくり支援事業

担当課 霊山総合支所

1,690万円

【目的】

市民が主体的に取り組む地域づくり事業などに助成を行います。また、行政区などの自主的な事業活動に活動交付金を助成します。

財源（万円）	市の負担
	1,690

【実施内容】

- 行政区運営事業（73行政区） 551万円
行政推進員の報酬です。
- 行政区活動交付金（73行政区） 619万円
町内会活動を育成する交付金です。
- 地域づくり支援事業交付金 520万円
平成29年度の申請により交付先・事業を決定します。



第32回霊山太鼓まつりの様子

【前年実績】

- 第32回霊山太鼓まつり事業
- 霊山太鼓の保存・伝承事業
- 婦人会活動事業
- 天蚕繭特産品づくりを通じた地域活性化事業
- 霊山ニンジン育成支援事業 など

月館地域づくり推進事業

担当課 月館総合支所

1,001万円

【目的】

市民が主体的に取り組む地域づくり事業などに助成を行います。また、行政区などの自主的な事業活動に活動交付金を助成します。

財源（万円）	市の負担
	1,001

【実施内容】

- 行政区運営事業（39行政区） 281万円
行政推進員の報酬です。
- 行政区活動交付金（39行政区） 302万円
町内会活動を育成する交付金です。
- 地域づくり支援事業交付金 418万円
平成29年度の申請により交付先・事業を決定します。



小手姫の里夏祭り

【前年実績】

- モノ作りびとフェア支援事業
- やまゆり花舞四季会社運営支援事業
- 小手姫の里まつり協議会運営支援事業
- こどもフェスタ開催支援事業
- 婦人会活動支援事業 など

1-2 生活安全体制の強化

消防団活動事業

担当課 消防防災課、各総合支所 **1億3,950万円**

財源 (万円)	市の負担	その他(諸収入)
	1億3,895	55

【目的】

火災・大雨洪水・地震などの災害に備え消防団を組織し、地域防災の要として街を守ります。

【活動内容】

- 日頃の備えとして各種訓練を行います。
- 規律訓練（集団で行動するための訓練）
 - 操法訓練（消火を安全に行うための訓練）
 - 水防訓練（大雨洪水時の堤防保護などの訓練）

【実施内容】

- 消防団員報酬などの支払い
- ヘルメット・防火衣などの購入
- 消防行事の実施（検閲・出初・初午）

【前年実績】

- 消防団員半長靴（安全靴）の購入

【組織】

- 団員数 1,312人（平成28年4月1日）
- 組織形態 5支団および本団

自主防災組織支援事業

担当課 消防防災課 **262万円**

財源 (万円)	市の負担
	262

【目的】

近隣住民による自主防災力の向上のために、自主防災組織の形成を前提とし、災害時における地域の対応力を高めるための組織の支援、育成を図ります。

【実施内容】

- 自主防災組織が行う防災資機材整備などの補助
- 自主防災組織が行う防災訓練や啓発活動の補助

【前年実績・効果】

- 自主防災組織数が前年比 56→70



二六町内会防災訓練の様子

内水対策事業

担当課 伊達総合支所 **1,042万円**

財源 (万円)	市の負担
	1,042

【目的】

台風、短時間集中豪雨時に対応するために内水を排除し、宅地や工業団地への冠水被害の軽減を図ります。

【実施内容】

- 伊達地区阿武隈川樋管2カ所に5ヶ月間排水ポンプを常設します。
- 冠水被害の多発する場所に水中ポンプを設置するための測量調査および実施設計を行います。

【前年実績】

- 平成28年度臨時排水ポンプ設置回数 10回



台風時の冠水状況

消費者行政推進事業

担当課 生活環境課 **994万円**

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	8	986

【目的】

消費者問題に関わる被害を未然に防止するため、消費者相談体制の強化や啓発活動を推進し、健全な消費生活社会の形成を図ります。

【実施内容】

- 消費生活相談
 - ・場所：本庁1階消費生活センター
 - ・時間：月曜日から金曜日まで（祝日、年末年始を除く）
 - 来庁相談 9時から16時まで
 - 電話相談 8時30分から17時まで
 - 電話番号 574-2233（相談専用）
- 消費生活暮らしの講座・講演会・見学会、啓発・注意喚起など

【前年実績】

- 相談件数 546件
- 暮らしの講座 月1回、講演会は年1回、見学会は年5回実施
- 弁護士無料相談会と多重債務相談会合わせて年12回
- 出前講座 年45回

交通安全対策事業

担当課 生活環境課、各総合支所 **511万円**

財源(万円)	市の負担
	511

【目的】

市民一人ひとりが、交通ルールを守るとともに、正しい交通マナーを実践し習慣化することで、交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指します。

【実施内容】

交通安全関係団体との連携のもと、市民参加型の交通安全運動や交通安全教育を推進し、交通安全意識の啓発と交通マナーの向上に努め、交通事故の減少を図ります。

交通安全協会各支部会（伊達・梁川・保原・霊山・月舘）に補助金を交付し、交通安全活動を支援します。

【前年実績】

伊達市内の交通事故状況（平成28年1月～12月）

年	平成27年	平成28年	比較
事故件数	97	104	7
負傷者数	101	109	8
死者数	3	4	1

交通安全施設整備事業

担当課 生活環境課、各総合支所 **785万円**

財源(万円)	市の負担
	785

【目的】

市民の安全な交通環境を確保するため、関係機関との連携のもと、交通安全施設の整備を推進します。

【実施内容】

- 交通事故防止のため、公道の危険個所へのカーブミラーなど交通安全施設の設置および修繕を行います。
- 適正な維持管理を行うためカーブミラーの台帳管理をします。

【前年実績】

- カーブミラー設置および修繕52カ所



カーブミラーの調整

1-3 持続可能な行政経営の推進



学校施設利活用検討事業

新たな地域振興施設へのリニューアル

担当課 地域振興対策室

1,027万円

【目的】

梁川地域の閉校となった5つの小学校施設について、小学校に代わる新たな地域振興に資する活用方法を検討し、具体化に向けた学校施設利活用方針を策定します。

【実施内容】

- 伊達市学校施設利活用審議会の開催 年8回
- 地区学校施設利活用検討会の開催 随時
- 民間企業や団体からの利活用提案（サウンディング調査）の実施

【前年実績】

学校施設の利活用検討に向けた有識者会議「伊達市学校施設利活用審議会」や閉校となる5つの地区毎に「地区学校施設利活用検討会」を設置し、官民一体と

なった検討体制の整備を図りました。



五十沢小学校校舎

業務改善推進事業

担当課 総合政策課

856万円

財源 (万円)	市の負担
	856

【目的】

行財政改革の一環として、トヨタ生産方式の根幹である「ジャスト・イン・タイム」の考え方を取り入れた業務改善と研修を通して、職員一人ひとりが改善手法を習得することで改善意識の醸成を図ります。

【実施内容】

- 3S5T実践
- 一般職対象基礎研修会
- 係長級対象応用研修会
- 課長級対象マネジメント研修会（業務の見える化）
- 業務改善の推進
- 事例発表会の開催

【前年実績】

- 3S5T現場指導 延べ63職場
- 事例発表会開催数 6回
- 事例発表職場数 延べ32職場
- 事例発表会参加者数 延べ300名
- 職員研修 285名受講
- 行革に関する全国大会出場

行政評価運用事業

担当課 総合政策課

192万円

財源 (万円)	市の負担
	192

【目的】

伊達市第2次総合計画の進捗管理を行うとともに、事務事業の効果を適正に評価し、事業の必要性や優先順位を十分に検証します。これにより事業のビルド＆スクラップを積極的に行い、持続可能な行政経営の推進を図ります。

【実施内容】

- 行政経営方針の策定
- 部経営に関する協議
- 事務事業評価および施策評価
- 事務事業優先度評価
- 評価研修会などの実施

【前年実績】

- 施策評価 17施策
- 行政経営会議の開催 4回
- 事務事業1次評価運用支援 23部署
- 事務事業優先度評価研修会 2日間（全8回）
- 行政評価研修会 2日間（全11回）

広報紙発行事業

担当課 秘書広報課

1,157万円

財源 (万円)	市の負担	その他(広告料)
	1,114	43

【目的】

市政に対する理解や協力をお願いし、市民協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さんに市の施策や制度などの情報を広報紙などを定期的に発行して、わかりやすくお知らせします。

【実施内容】

- だて市政だより 毎月第4木曜日発行 年12回
- だて市政だよりお知らせ版 毎月第2木曜日発行 年11回
- ラジオCMなどによる情報発信



広報紙表紙

ケーブルテレビ番組制作放送事業

担当課 秘書広報課

5,369万円

財源 (万円)	市の負担	その他(使用料など)
	3,937	1,432

【目的】

市民に行政や地域の情報を提供するため、自主放送番組を制作し伊達市ケーブルテレビで放送します。

また、BS・CS放送番組を提供します。

【実施内容】

伊達地域において、伊達市ケーブルテレビ加入者へ地上デジタル放送の再送信、自主放送および有料放送を送信します。

①自主放送番組

- こんにちはだて11ちゃん（コミュニティ番組）
- 特別番組（地域のイベント）
- 議会中継（生中継）
- 文字情報放送・愛宕山情報カメラなど

②ケーブルテレビ放送チャンネル数

- 無料放送 地上デジタル8チャンネル（うち自主放送2チャンネル）
- 有料放送 BS・CSデジタル42チャンネル

【前年実績】

- 有料放送加入件数 416件

ケーブルテレビネット配信事業

担当課 秘書広報課

442万円

財源 (万円)	市の負担
	442

【目的】

伊達市ケーブルテレビの自主放送番組をインターネット（市のホームページ）で配信することにより、伊達地域以外でも視聴できるようにし、地域間の情報格差を是正します。

【実施内容】

自主放送番組「週刊こんにちはだて11ちゃん」を毎週金曜日18時のテレビ放送に合わせて、インターネットに公開します。

伊達市議会開催中は本会議の様様をライブ配信（生中継）し、議会終了後は審議内容毎に編集して配信します。

【前年実績】

アクセス件数

- 「週刊こんにちはだて11ちゃん」：33,430件
- 議会中継：3,706件

ケーブルテレビ施設維持管理事業

担当課 秘書広報課

2,348万円

財源 (万円)	市の負担	その他(負担金など)
	2,324	24

【目的】

放送送信設備やケーブル回線の故障によりケーブルテレビからの放送（50チャンネル）が中断しないようにするため、ケーブルテレビ施設の維持管理を行います。

【実施内容】

ケーブルテレビ施設の稼働状況をシステムで監視し、異常が発生した場合は対処します。

また、ケーブルテレビの加入や廃止があった場合は、回線の引込・撤去工事を行います。

【前年実績】

- ケーブルテレビ加入数 14件
- ケーブルテレビ廃止数 17件
- ケーブルテレビ現加入世帯数 2,939世帯

新規

市民憲章推進事業

担当課 総務課

20万円

財源 (万円)	市の負担
	20

【目的】

平成28年6月5日、更なるふるさとへの愛着心を育み、まちの一体感を醸成するとともに、協働してより良いまちづくりを進めていくための行動規範となる市民憲章を制定しました。

市民憲章を広く啓発し、市民の主体的なまちづくりを推進します。

【実施内容】

- 市民憲章を題材とした小中学生の作文コンクール



伊達市民憲章

本庁舎増築事業

担当課 総務課

12億58万円

財源 (万円)	市の負担
	12億58

【目的】

保原本庁舎と梁川分庁舎に分かれている本庁機能を一元化し、市民サービスの向上と事務の効率化を図るため、本庁舎東側に庁舎を増築します。併せて必要な既存庁舎の改修を行い、不足する駐車場用地を取得します。

【実施内容】

- 増築庁舎本体工事
- 既存庁舎改修工事
- 駐車場用地取得

【前年実績】

- 実施設計の策定

非核平和都市宣言事業

担当課 総務課

144万円

財源 (万円)	市の負担
	144

【目的】

平成24年6月28日、伊達市は「非核三原則」を遵守し、すべての核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざし、『非核平和都市』であることを宣言しました。

この宣言を契機として、核兵器の怖さや平和の尊さを次代に継承し、平和維持の重要性を広く市民に啓発することとしています。

【実施内容】

○伊達市中学生広島平和記念式典派遣事業

広島平和記念式典への出席、原爆ドームや広島平和記念資料館の見学、平和記念日行事に参加し、戦争の悲惨さと平和の尊さを学習します。各学校において報告会を開催し、平和の尊さを共有します。

○原爆パネル展

広島・長崎の原爆に関するパネルを展示し、核兵器の怖さや平和の尊さを市民に広く啓発します。

【前年実績】

○伊達市中学生広島平和記念式典派遣事業

8/5～8/7 中学生12名参加

○原爆パネル展 8/6～9/6

本庁舎シルクホールなど（市内5地域）

拡充 保原駅コミュニティセンター維持管理

担当課 保原総合支所

2,739万円

財源 (万円)	市の負担	その他(使用料など)
	2,616	123

【目的】

保原駅舎を兼ねる1階待合室と2階コミュニティセンターの維持管理を適切に行い、阿武隈急行駅利用乗降客の安心安全、利便性を提供し、また、市民の交流の場を提供することにより、地域の活性化を図ります。

【実施内容】

○コミュニティセンターの維持管理

○コミュニティセンターの屋根改修工事

【前年実績】

○コミュニティセンターの維持管理

○コミュニティセンターの2階空調設備1台更新



保原駅コミュニティセンター

収納管理事務

担当課 収納課

576万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他(土地改良区)
	256	115	205

【目的】

市民の皆さんから納付された市税などの収納状況を把握し、適正管理に努めるとともに、納付環境を整備する事務を行います。

【実施内容】

○市民の皆さんから納付された市税などが、正しい収納処理がなされているかを管理します。

○全国どこでも納付可能なコンビニ収納や、金融機関へ一度申し込みれば指定口座から自動振替される口座振替などの、納付環境の維持に努めています。

○最も利便性・確実性・安全性の高い口座振替については加入促進を図っていきます。

○納付期限を過ぎても納付されない場合は、督促状を発行し、収め忘れのないようお知らせしています。

滞納整理事務

担当課 収納課

926万円

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	741	185

【目的】

市税などの収入額を増加することにより、市行政の健全な財政運営を推進します。市税などの負担の公平公正性を確保します。

【実施内容】

○催告書の送付、電話催告、訪問徴収などにより滞納金の納付を推進します。

○納付相談により、計画的な滞納金納付を図ります。

○実態調査などにより、担税能力を把握します。

○滞納者の財産に対し差押を執行し、滞納金を収納するとともに、税債権の確保を図ります。

○差押えた動産や不動産をインターネット公売により換価し、滞納金に充当します。

○延滞金を厳格に徴収し、納期内納付の推進と税負担の公平公正性確保に努めます。

国土調査事業

担当課 農林整備課

1,993万円

【目的】

土地を地番ごとに「所有者・境界・地目」を調査することで、正確な地図と面積を算出し、登記に反映させます。

【実施内容】

梁川地域の上町・天神前・赤五輪・南町頭・南町谷川・大町二丁目・北町頭の一部・菖蒲沢の一部・町裏の一部・北新井の一部、0.25平方キロメートル、1,257筆を実施します。

※筆とは・・・土地を数えるときの単位です。

【前年実績】

梁川地域の上町の一部・天神町の一部0.01平方キロメートル、67筆の調査を実施しました。

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,005	988



平成 29 年度 実施予定区域図